



課名：農林水産局
販売・連携推進課
担当：諫山
内線：3581
直通電話：082-513-3582

課名：健康福祉局
健康づくり推進課
担当：武内
内線：3120
直通電話：082-513-3076

広島県産品の販売促進と県民の健康増進に取り組むイベント ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～の開催を知事に報告 <日時:4月8日(火)11:40～12:00 場所:県庁北館第1会議室 >

広島県では、多様な主体とともに「おいしい！広島」プロジェクトを推進し、広島の多彩な食資産を磨き、その魅力を発信しています。この一環として、「チア！ひろしま 広島県産応援登録制度」では、県内で生産される農林水産物等の県内外での販路拡大や、企業の皆様と連携した商品開発等の支援に取り組んでいます。

この度、本プロジェクトの取組の一環として、株式会社良品計画とJA全農ひろしまが連携し、広島県産品の販売促進と県民の健康増進を目的とした、「チア！ひろしま」登録商品や3-R商品、ウェルビーイング野菜などの県産品の販売や「まちの保健室」と連携したイベント「ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～」を開催することとなり、この報告のため湯崎知事を表敬訪問します。

広島県は株式会社良品計画と令和5年4月に包括的連携に関する協定を締結しており、県産品の販売促進や健康増進をはじめとする様々な分野での連携強化を図っています。

今回の取組は、生産者の意欲向上や県民の野菜摂取量の増加にもつながりますので、是非取材いただきますようお願いいたします。

湯崎知事訪問の概要

1 日 時 令和7年4月8日(火)11:40～12:00

2 場 所 県庁北館2階第1会議室

3 出席者 広島県知事

湯崎 英彦 (ゆざき ひでひこ)

株式会社良品計画 営業本部 広島事業部長

兼 ソーシャルグッド事業部 ライフスタイル事業部長 高須賀 大索(たかすが だいさく)氏

JA全農ひろしま 園芸部 部長

藤田 佳洋(ふじた よしひろ)氏

さいねい農園

さいねい 龍二(さいねい りゅうじ)氏

JA広島市小松菜生産者

福田 卓己(ふくだ たくみ)氏

4 内 容 ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～の取組報告、生産者動画放映、ベジミルを用いた知事の野菜摂取量測定、懇談、写真撮影、質疑応答及びメディア向け野菜摂取量測定

ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～について

広島県内の農産物の販売促進やひろしまブランドの価値向上、県民が生涯にわたり心身共に健康で高いQOLを実感できる仕組みづくりのため、次のとおりイベントを開催します。

○イベント概要

- ・日程 令和7年4月以降の「ひろしま地産地消の日」
＝第3日曜日 10時～15時
- ・場所 「無印良品 広島アルパーク」1階 青果コーナー
「無印良品 ゆめテラス祇園」「まちの保健室」前
- ・内容 「チア！ひろしま」登録商品や3-R商品、
ウェルビーイング野菜をはじめとする広島県産野菜等の
販売、ベジミル測定会の開催(野菜摂取量測定と健康アドバイスを実施)



フェアイメージ

※ひろしま地産地消の日とは

地産地消の大切さをより広く知ってもらうため、ひろしま産を消費する日として「ひろしま産day」をキャッチフレーズとし、令和3年6月に、広島市により毎月第3日曜日を「ひろしま地産地消の日」が制定されました。

まちの保健室について

「まちの保健室」は、株式会社良品計画が取り組む、気軽に「こころ」と「からだ」を健やかに整えられる場所として、「無印良品 広島アルパーク」、「無印良品 ゆめテラス祇園」の区画内にオープンしました。

この度、イベントの一環として、自身の野菜摂取度が手軽に計測できる機器「ベジミル」を活用した「ベジミル測定会」を実施します。

計測後のデータをまちの保健室の管理栄養士スタッフ・野菜ソムリエスタッフが、野菜摂取についての健康相談やアドバイスを行います。

併せて、広島県産野菜を購入した測定会参加者向けキャンペーンも実施予定です。



まちの保健室



耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」について

「3-R」とは、JA全農ひろしまが立ち上げた、「耕畜連携」による資源循環型農業で生産された農畜産物や加工品のブランドです。畜産業で出た堆肥を「資源(肥料)」として「再利用」する資源循環・耕畜連携の取り組みを「繰り返し」ていくことで、地域の環境保全と持続可能な農業を目指しています。

無印良品広島アルパークでは令和4年度から、令和6年度からは「無印良品 イオンモール広島府中」と「無印良品 ゆめテラス祇園」で「3-R循環野菜」の販売を開始しました。6年度は年に8回共同で3-Rの訴求イベントを実施しました。



詳しくはこちらから⇒



ウェルビーイング野菜について

「ウェルビーイング野菜」プロジェクトとは、野菜に硝酸態窒素低減という新たな価値基準を与えることで、食の安心や環境への配慮を求める消費者の需要に応え、生産者の収入増加につなげようというものです。令和6年度「Hiroshima FOOD BATON」(食のイノベーション推進事業)に採択され、さいねい 龍二 氏が中心となり取組を推進されています。硝酸態窒素が少なくなるように栽培して、一定の基準を満たした野菜を「ウェルビーイング野菜」として認証し、販売拡大を目指しています。

詳細は、note記事参照: <https://note.com/hiroshima fb/n/nc5c4c2d74087>



「チア！ひろしま 広島県産応援登録制度」とは

「魅力ある広島の幸をもっと知ってほしい！もっと食べてほしい！」そんな想いから、広島県の食材のうち、食のプロの審査に合格した「魅力ある商品」を登録し、これらのこだわりの逸品が食卓にのぼるよう、取扱店の拡大やPR活動など全力で応援しています。



広島県産
応援登録制度

「おいしい！広島」プロジェクトとは

「おいしい！広島」プロジェクトは、「広島が美味しさの宝庫である」というブランドイメージの向上を目指し、広島ならではの多彩な食の魅力を磨き発信していくことで、広島の食文化の発展的継承につなげていく取組です。



健康づくり(野菜摂取増)の取組について

広島県では、第4次広島県食育推進計画において、1日の野菜摂取量350g以上という目標を掲げています。県民の野菜摂取増を後押しするものとして、野菜摂取量の見える化や、野菜摂取2週間チャレンジ「ベジフルチャレンジ」を実施しました。

<取材連絡先>

■ 本取組に関すること

株式会社良品計画 営業本部 広島事業部 食と農担当 平原美穂子

【電話 080-4415-7397、メール hirahara@muji.co.jp】

■ 耕畜連携・資源循環ブランド3-Rについて

J A全農ひろしま 改革推進部 改革推進課 若林峻太

【電話 082-846-4701、メール wakabayashi-ryouta@zennoh.or.jp】

■ 「ウェルビーイング野菜・Hiroshima FOOD BATON」「チア！ひろしま 広島県産応援登録制度」、「おいしい！広島プロジェクト」に関すること

広島県農林水産局販売・連携推進課 課長 諫山俊之

【電話 082-513-3582、メール nouhanbai@pref.hiroshima.lg.jp】

■ 健康づくりに関すること

広島県健康福祉局 健康づくり推進課 課長 武内聡

【電話 082-513-3076、メール fukensui@pref.hiroshima.lg.jp】

令和7年4月1日

報道各位

全国農業協同組合連合会広島県本部
(JA全農ひろしま)

ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～の開催を知事に報告 株式会社良品計画や広島県と連携し、県産野菜の魅力発信！

JA全農ひろしまは株式会社良品計画や広島県と連携し、「耕畜連携・資源循環ブランド3-R」「チア！ひろしま」「ウェルビーイング野菜」などの県産品の販売や「まちの保健室」と連携したイベント「ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～」を4月20日（日）に開催します。その報告のために4月8日（火）に湯崎知事を表敬訪問します。

「無印良品 広島アルパーク」では令和4年度から、令和6年度からは「無印良品イオンモール広島府中」と「無印良品 ゆめテラス祇園」で「3-R 循環野菜」の販売を開始しました。6年度は年に8回共同で3-Rの訴求イベントを実施しました。

7年度からは、広島県とも連携することで、更なる広島県産農産物の魅力を県民の皆様に伝えていきたいと考えております。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、是非ご取材いただきたくご案内を申し上げます。

■湯崎知事訪問の概要

1. 日 時：令和7年4月8日（火）11：40～12：00
2. 場 所：広島県庁北館2階第1会議室
3. 出席者：広島県知事 湯崎 英彦氏
(株)良品計画 営業本部 広島事業部長 高須賀 大索氏
JA全農ひろしま 園芸部部長 藤田 佳洋
さいねい農園 さいねい 龍二氏
JA広島市小松菜生産者 福田卓己氏
4. 内 容：ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～の取組報告
生産者動画放映、
ベジミルを用いた知事の野菜摂取量測定
懇談、写真撮影、質疑応答及びメディア向け野菜摂取量測定

■ひろしまの旬を楽しむ野菜市～ベジミル測定会～について

1. 日程：令和7年4月以降の「ひろしま地産地消の日」
令和7年4月20日（日）10時～15時
2. 場所：無印良品 広島アルパーク1階 青果コーナー
※5月以降の日程や場所については、変更になることがあります
3. 内容：「3-R循環野菜」「チア！ひろしま」「ウェルビーイング野菜」
ベジミル測定会の開催（野菜摂取量測定と健康アドバイスを実施）



■まちの保健室について

「まちの保健室」は、株式会社良品計画が取り組む、気軽に「こころ」と「からだ」を健やかに整えられる場所として、「無印良品 広島アルパーク」、「無印良品 ゆめテラス祇園」の区画内にオープンしました。この度、イベントの一環として、自身の野菜摂取度が手軽に計測できる機器「ベジミル」を活用した「ベジミル測定会」を実施します。計測後のデータをまちの保健室の管理栄養士スタッフ・野菜ソムリエスタッフが、野菜摂取についての健康相談やアドバイスを行います。

■3-Rブランドとは

「3-R」とは、「耕畜連携」による資源循環型農業で生産された農畜産物や加工品のブランドです。畜産業で出た堆肥を「資源（肥料）」として「再利用」する資源循環・耕畜連携の取り組みを「繰り返し」ていくことで、地域の環境保全と持続可能な農業を目指しています。



■チア！ひろしま 広島県産登録制度とは

「魅力ある広島の幸をもっと知ってほしい！もっと食べてほしい！」そんな想いから、広島県の食材のうち、食のプロの審査に合格した「魅力ある商品」を登録し、これらのこだわりの逸品が食卓にのぼるよう、取扱店の拡大やPR活動など全力で応援しています。



■ウェルビーイング野菜とは

広島県が取り組んでいる令和6年度「Hiroshima FOOD BATON」（食のイノベーション推進事業）に採択され、さいねい 龍二氏が中心となり取組を推進されています。硝酸態窒素が少なくなるように栽培して、一定の基準を満たした野菜を「ウェルビーイング野菜」として認証し、販売拡大を目指しています。



【お問い合わせ先】

■耕畜連携・資源循環ブランド3-Rについて

J A全農ひろしま 改革推進部 改革推進課 若林峻太

【電話 082-846-4701、メール wakabayashi-ryouta@zennoh.or.jp】

■本取組に関すること

株式会社良品計画 営業本部 広島事業部 食と農担当 平原美穂子

【電話 080-4415-7397、メール hirahara@muji.co.jp】

■「チア！ひろしま 広島県産応援登録制度」、「Hiroshima FOOD BATON」について

広島県農林水産局販売・連携推進課課長 諫山俊之

【電話 082-513-3582、メール nouhanbai@pref.hiroshima.lg.jp】